



有難難の世の中、一歩一歩、
ディの夢、一歩一歩、
入マスケーキ、
念、
具、
大

福井商工会議所 青年部会報

FUKUI

Young Entrepreneurs Group of
The Fukui Chamber of Commerce and Industry

No. 58

第58号 平成5年1月27日発行

発行所

福井商工会議所青年部：福井市大手3-13-1
13-1. 3-Chome. Ohte. FuKui-City. JAPAN 〒910
TEL:0776-23-8111 FAX:0776-23-8475

発行者：大須賀廣美

編集者：橋 敏夫

福居



1993年新春

会長 大須賀 廣 美

青年部の皆様、新春あけましておめでとうございます。希望に満ちた一九九三年をお迎えのことと思いません。

昨年は、近畿ブロック運営研究会福井大会・秋色とさめきハートランド・市民の広場事業を同時開催と、非常に会員の方々等にご無理をお願いしたにもかかわらず、皆様の熱意と努力によって大成功のうちに終了することができました。厚く御礼申し上げます。

平成四年度商青連の統一テーマ地域におこせ、新しい風、熱い風のもと、福井商工会議所青年部の基本方針として、グローカリゼーションを掲げました。そして、近プロ大会にて、「環日本海時代を迎えて」の研究討論会の成功、今年二月の海外研修事業（中国杭州市訪問等）の実施等、

山形全国大会に参加して

平成四年十一月六日・七日の両日、山形市において商工会議所青年部全国大会が開催されました。今回は、福井県連三谷会長のもと、そろってバスで行こうということで、五十一名の参加。福井単会からは、事務局の橋氏をいれて十一名の参加となりました。五日午後十時福井駅東へ出発。簡単な挨拶と説明の

後、自己紹介に入る。バスという運命共同体のもと、一路山形へ。途中ビデオによる各種研修等も行われ、なごやかな雰囲気となりました。

翌朝山形に到着。午前中の時間を利用して観光旅行となりました。俳人芭蕉をはじめ、多くの文人が名句を残した東北の古刹山寺。杉木立のなかを縫って続く千百余段の石段、疲れました。

閑かさや 岩にしみ入る 蝉の声（山寺）
昼食は、山形のいも煮鍋。会場入口にも直径五、六mの大鍋が展示されていました。

会場に到着し、県のイメージガール二名と合流、福井県のアピールに努めたこと（私は、商青連の総会に出席。残念無念）

今回の大会初日は「地球討論会―出羽の国で世界を語る」基調講演「故郷の国際化」ダニエル・カール氏で始まりまし

た。カール氏は、山形弁研究家、現在ドラマ、ショー、コメンテーター等で活躍。軽妙な山形弁で？笑いを誘いました。この後四分科会に分かれ討論、意見交換が行われました。

第一、世界ビジネススマン気質―不思議の国、ニッポンを語る―

第二、地球が危ない、一環境問題を語る―

第三、企業は文化なり―ポードレス時代の文化を語る―

第四、私はあなたのコンサルタント―地域活性化の問題点を語る―

近プロ福井大会のグローカリゼーションと方向性は全く同じだと思いました。問題はヤルか、ヤラないかの違いだと思いました。

二日目、式典の前に、記念講演「いま、企業に求められるもの」評論家佐高信（さたかまこと）氏のお話しが始まりました。辛口の批評家として企業社会日本の「人」と「金」を切り続

けていくとのことで、話が非常にももしろい。興味深く、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

続いて式典に入り山形宣言の発表、私はYEGとして、夢に挑む。

私達はYEGとして、地域を愛する。すべてのYEGは、連帯の証となる。

私は、翌日の仕事の関係で、式典途中にて、会場を出しましたが、山形の全国大会は私にとっても大切な人生のページになったことは明白です。帰りの山形新幹線で当青年部の小川氏と合流、青年部のかかえる問題点を話し合えたのもグツドラックでした。

一九九三年の全国大会は、三重県の津で開催されます。全国の青年部の人達と交流を深めることは、非常に有意義です。いっしょにあべはあ（行こうの山形方言）。

青年部 クリスマスパーティー 開催される!!

さる十二月二十二日、福井パレスホテルにおいて、家族参加による楽しいクリスマスパーティーが行われました。

このパーティーには、三十家族、計百十四名もの参加者があり会場は超満員!



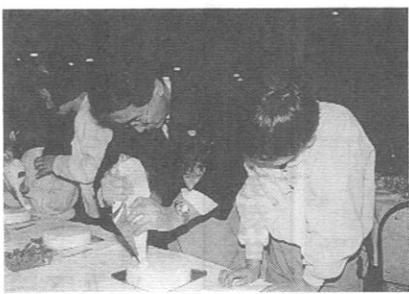
大須賀会長の挨拶でパーティーの幕があき、家族ごとによるクリスマスケーキ作りの始まり!生クリーム

性があり、どちらかというお子供よりも、お父さん、お母さんの方がケーキに向かっ

て大奮戦していたように思います。作り上げたケーキは、皆さんの

おみやげに……。副会長の苅安さんのカン

パイの後、全家族の自己紹介をしながらの会食を楽しみました。



食事の途中でいよいよパーティーのメインでもあるク

イズ大会へと進んでいきました。あの「マジカル頭脳パワー」でおなじみの「ある・なしクイズ」では、子供もおとなも飲み食いよりもクイズの方が先に立ってか、全員真剣そのもので、黒板と出題者に注目!



正解された方には、豪華景品が贈られました。

また、その後では、皆さんお待ちかねのビンゴゲームの始まりです。

数を読み上げていくうちに一人二人とリーチがかかります。でも私の方はというと、一向にそりません。そうしているうちに「ビンゴ」と大きな声があちこ

ちで聞こえ始めてきて、プレゼントを受け取っていました。

「プレゼントがなくなるのでは」とあせりだしました。とその時、司会者が今度ビンゴになった方は、ラッキー賞とのこと。「よし」と思ったもの束の間、ラッキー賞をさらっていったのはなんと橋さんでした。



そして私もやっと「ビンゴ」。どうやら全員分のプレゼントがあったようでした。そしてゲームの楽しいひとときが過ぎていきました。楽しさの余韻に浸ってい



ると、子供達の目が急に輝きました。そうです、サンタが子供へのプレゼントを持って登場です。子供一人一人と握手しながら会場を一周。サンタの背中がなぜか大須賀会長の背中みたいでした?それにしても、子供達のうれしそうな目が印象的でした。

最後にこども一人一人にプレゼントを手渡され、会員委員会副委員長の橋さんの万歳で楽しい三時間が終了しました。

子供はもちろん、大人にとってもクリスマスは心が和む日でした。

9月度例会報告

九月二十二日(水)、商工会館五〇一号室において例会が行われた後、(株)セーレン常任顧問である渚徹氏より卓話を頂いた。

「日本の美について」等の話で、特にスライドを交えての説明では、北陸の冬の美しさ等、非常に感嘆させられるものばかりであった。

その後、駅前の「久喜津屋」に場所を移し、近プロ・ハートランド・市民の広場の合同反省会が行われた。

10月度例会報告

十月二十八日(水)五〇一号室において、例会が行われた後、前田工織(株)の前田征利社長より卓話を頂いた。

「新製品開発とその研究過程について」という演題で講演を行ったが、社長の語る熱っぽさには、青年部

一同驚いたばかりでなく、三代めとは思えない力強さを感じられた。

また、「男にとってロマンとは？」という事で、五つのロマンも語って頂いた。

11月度例会報告



十一月二十五日(水)五〇一号室において例会が行われた後、経済評論家である泉和幸氏より「未来を拓く中小企業の経営戦略」という演題のもと卓話を頂いた。

氏の話は、非常に熱っぽく、立て板に水のような話しは、青年部一同感心させられるばかりであった。また、企業経営のみでは

なく、政治・経済についても語って頂いた。その後場所を移し、懇親会が行われた。

12月度例会報告



十二月十六日(水)五〇一号室において、定期総会が行われ、平成五年度役員選任や資格規定の一部改正など、議案が採決された後、次期会長予定者である松木延倫副会長より、所信表明が行われた。

その後、福井情報ビジネス総合学院の理事長である高山和夫氏より「就職活動にみる若者気質について」の演題のもと、就職戦略について語って頂いた。

ソフトボール大会開催される

さる十月十二日(月)十八時より、開発グラウンドにおいて、福井市商工労働部、織維産元青年部、当商工会議所青年部A・B2チーム計4チームによるソフトボール大会が行われた。



当青年部Bチームは、一回戦で織維産元青年部を破り決勝戦では強豪の商工労働部を破つての優勝。立派なものである。

大和路奈良にて

佐々木清史

去る十月二十一日(水)秋晴れの中JR北陸線近鉄奈良線と乗り継いで一路奈良へ。奈良ロイヤルホテルにて奈良商工会議所青年部創立十五周年記念式典が「さらなる飛躍の時、創意と情熱を」をスローガンに開催され、本出良一奈良商工会議所青年部会長の熱弁の後、懇親会が、奈良太鼓の「コンコン、カシヤカシヤ」の音で開かれました。奈良太鼓の「コンコン、カシヤカシヤ」は竹を半分に分けてそれをばちでたたきといった演奏です。さらに大太鼓のメンバーが、青年部事務局の森田氏と青年部の面々で、今日の式典のため連日練習してきたと聞き、因みに十周年の時に初出演と聞き、なかなかの演奏でした。我々福井のメンバーも太鼓に挑戦!

みなさんよろしく —新入会員 プロフィール—

藤田 喜昭

S三二年一月二〇日生
北陸電力(株) 福井営業所

福井市日之出一一四一

電話 二三一一二二二
FAX 二四一七八三二
(業種) 電力業

藤田 幸治

S三三年六月一五日生
藤田プリント社

福井市和田東一九一三八
電話 二四一八〇三
FAX 二二一七二八〇
(業種) 印刷業

金木 正隆

S三二年三月一七日生
カナキ保険事務所
福井市毛矢二一九一〇
電話 三五一六六三三
FAX 三五一六一八四
(業種) 損害保険代理業

企業訪問

(株) 刈安商店

人と機械とコンピュータの調和をもとに開発型企業を目指す(株)刈安商店です。

昭和三十三年創業、四十三年会社設立、五十三年優良法人企業に指定され現在に至ります。

主要取扱品目として、プレカッタライン、モルター、製材機、木工機、林業機、焼却炉、乾燥機、電動工具、チェーンソー、刈払機、プレス機、コンプレッサー、モーター、ホイストクレーン、ワイドサンダー、公害防止設備、自動結束機、工場内搬送自動化装置、ゴルフ場芝刈機等の設計、製造、販売修理、据付け、技術指導で工場のトータルシステムをプランニングします。

営業エリアは福井、石川、富山北陸一円です。刃物研磨課は北陸トップで指導にもあたります。エンジン課はチェーンソー、刈払機、造園用機器。鉄工部では天井



クレーン、搬送等も製作します。機械課は、機械組付また中古機械等も整備します。その他電気サービスマンがおります。お客様は、危険、高齢化により作業員が減っています。そこで当社は小人数でこなしたり、技術職人でなくても作業できる省力化の一貫システムを造り出します。製品の品質高精度を更にアップ確かな安全供給を実現します。(例) 家一軒大工さん六〇日ぐらしかかる加工を、一〜二日ぐらいで行います。また、当社各課において広く人材を求めていきます。よろしく!

株式会社 刈安商店

本社 福井市城東4丁目17-15
TEL (0776) 22-7578(代)
FAX (0776) 22-7629
丸岡倉庫 福井県坂井郡丸岡町30の48番地

KARIYASU



トピックス

●事務所移転●

五十嵐 長
(株) ショーセイ

〈新住所〉
福井市中新田町

二一八十二
〈新電話〉五二一一二〇〇
〈FAX〉五二一一二二二



四位(最下位)という結果となつてしまった。会議所女子職員の黄色い声援を受け、日頃の体形からは考えられないような、数多くのナイスプレー、ホームランの中、楽しく爽やかな汗をかいた。

有意義な時間であった。

研修・交流委員会
前田 実

今度は「やせた」と

言わせてみたい

松木 延倫

《昭和六十三年》

「ふとったんじゃないの」と必ずのヨウに言われるようになった。

言い方はそれぞれで、

「ハレたね」

「むくんでいるのかね」というものから、

「また太ったんじゃないの」という言語道断のものもあるれば、

「ゼニ儲けが荒いから、楽をしてばっかりじゃないの」という、極悪非道の元凶みたいな理由までつけてくれる、よけいなお世話のものまであった。

もともと外見を気にする性格ではないが、異口同音にいわれると、さすがに気になる。

イチイチ理由を説明するのもウザクルシイ。できれば、太った件にはふれてほしくないのだ。

晩酌もするようになって。それがまた、体重が増えた分だけよく入り、

「ビールがウマイ」。

もともと私は、飲むとすぐ寝る。

太って疲れることもあるのだから。子供といっしょにオヤスミなさいに。

ところがソコで困った

とに、ヤル気よりネム気のホウが勝つてしまつて、ソツチの方をツイ忘れてしまつてしまうように。

朝になつては、アイタ！とかシマツタ！とか思い知るのだが、タツテのお願いは、時すでに遅し。

とうとう「最近、ヨワくなつたわね」と、胸にズンとこたえる一言を頂戴するハメに。

太つてみるとイロイロつらいヨ。

一年位は腰が痛かつた。負担がかかつたのだから。足腰の疲れも早くてキツイ。

もともとやせ気味だったからか、「体格がよくなたねえ」と父母は言つてくれた。

しかし、「スリムなところがナツかしいわ。これ以上太らないでよ」と、家内の評判はすでに、ハナハダよくなかつたのである。

《平成元年》

青年部に入会させて頂いた年である。

六月二十九日。

市民の広場委員会。

まだキャン・コピアの営業だった佐々木さんが、わざわざ電話をくれて、初委員会だからと、いっしょに乗せて行ってくれた。

十一月十九日の桜植樹にあわせた広場開催を協議している。

七月二十日。例会。

八月二日・洲本での近プロ要綱をいただいている。この第七回近プロでは、幹事の奥村さんが汽車の時間に遅れた。が、な、なんと、汽車も十分遅れたため、間に合った。

アワおどりが雨で中止になつたこと、前田・松木コンビで当たるをさいわい吹きまくつてきたこと、などがなつかしい。

このとき以来、青年部史上最悪のコンビと言われていたが、それはそれとして、ほとんどの青年部のみなさまとは、太つ腹の私？でのおつきあいになる。

この年将棋名人戦が見たくて衛星放送をつけた。

ある日、深夜、ふと目が覚めて、眠れず、これも、なんとなく、衛星放送を。

NFLをやっていた。たぶん、ナショナル・フットボール・リーグの略だろうが、今、アメリカ合衆国で、いちばん人気が高いプロ・スポーツである。

そのころは、いまと違って、夜中の放送が多かつた。九時ごろ寝ては、一時ごろ起きる。家内に、しょっちゅうアツアツ言われた、記憶がある。

問題があつた

三時ごろまでの間に、また、ビールを一本は必ずあけることである。

この手の不摂生には、絶対的結果がついてまわる。時間の問題であつた。

(次号つづく)



おくやみ

当青年部の板倉乾造さんのお父様をご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。